

新旧対照表
 【特例輸入者の承認要件等の審査要領について（平成 19 年 3 月 31 日財関第 418 号）】
 （注）下線を付した箇所が改正部分である。

改正後	改正前
<p>1 （省 略）</p> <p>2 過去の法令違反歴等に関する審査</p> <p>特例輸入者、特定保税承認者、特定保税運送者、特定輸出者、認定製造者又は認定通関業者（法第 79 条の 2 に規定する認定通関業者をいう。以下同じ。）（以下「特例輸入者等」という。）の承認又は認定の申請があった場合における当該申請を行った者（以下「申請者」という。）に係る過去の法令違反歴等（法第 7 条の 5 第 1 号、法第 51 条第 1 号（法第 62 条において準用する場合を含む。）、法第 63 条の 4 第 1 号、法第 67 条の 6 第 1 号、法第 67 条の 13 第 3 項第 1 号及び第 3 号イ又は法第 79 条第 3 項第 1 号に掲げる事項をいう。）に関する審査は、次による。この場合において、その審査の対象となる者が、国内外の治安に重大な影響を与えるおそれのある団体等への関与が懸念される者であるか否かについても配意する必要があるので留意する。</p> <p>(1) 特例輸入者の承認の申請の場合</p> <p>① 申請者が法第 7 条の 5 第 1 号イからリまでに該当するものでないことを確認する。</p> <p>なお、次の事項の確認にあたっては、別途通知する方法により<u>法第 105 条の 3</u>の規定に基づき都道府県警察に照会して行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">（省 略）</p>	<p>1 （同 左）</p> <p>2 過去の法令違反歴等に関する審査</p> <p>特例輸入者、特定保税承認者、特定保税運送者、特定輸出者、認定製造者又は認定通関業者（法第 79 条の 2 に規定する認定通関業者をいう。以下同じ。）（以下「特例輸入者等」という。）の承認又は認定の申請があった場合における当該申請を行った者（以下「申請者」という。）に係る過去の法令違反歴等（法第 7 条の 5 第 1 号、法第 51 条第 1 号（法第 62 条において準用する場合を含む。）、法第 63 条の 4 第 1 号、法第 67 条の 6 第 1 号、法第 67 条の 13 第 3 項第 1 号及び第 3 号イ又は法第 79 条第 3 項第 1 号に掲げる事項をいう。）に関する審査は、次による。この場合において、その審査の対象となる者が、国内外の治安に重大な影響を与えるおそれのある団体等への関与が懸念される者であるか否かについても配意する必要があるので留意する。</p> <p>(1) 特例輸入者の承認の申請の場合</p> <p>① 申請者が法第 7 条の 5 第 1 号イからリまでに該当するものでないことを確認する。</p> <p>なお、次の事項の確認にあたっては、別途通知する方法により<u>法第 105 条の 2</u>の規定に基づき都道府県警察に照会して行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">（同 左）</p>